あすか製薬ホールディングス中期経営計画2025

あすか製薬ホールディングスは、トータルヘルスケアカンパニーの実現を目指し、2025年を最終年度とする中期経営計画2025を推進しています。掲げた4つのビジョンを実現するため、「専門性」「生み出す力」「社会貢献」を土台に、7つの戦略の遂行に取り組んでいます。

あすか製薬ホールディングス 中期経営計画2025

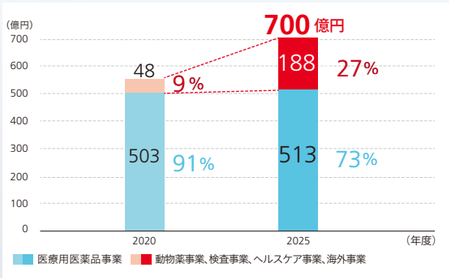
4つのビジョン

1. 医療用医薬品を軸に事業スコープ（領域、地域）を拡大する
2. オープンイノベーション推進により業務革新を実現する（研究開発～生産～販売）
3. 中核となる国内医薬品事業（スペシャリティ領域）で国内トップを確立する
4. 社会から信頼される会社であり続ける

7つの戦略

売上高　700億円
営業利益率　8%
ROE　8%

目標売上高



中期経営計画策定の土台

専門性　生み出す力　社会貢献

	2021年度 実績	2022年度 実績	2025年度 目標
売上高（百万円）	56,607	60,461	70,000
営業利益率（%）	8.5	8.4	8.0
ROE（%）	8.8	8.2	8.0

2022年度の振り返り

あすか製薬ホールディングス中期経営計画2025の2年目にあたる2022年度は、経済活動の正常化が進む一方で、エネルギー・原材料価格の高騰などコスト増加による影響もあり、先行き不透明な状況が続きました。また医薬品業界においては薬剤費抑制を目的に2021年4月以降、毎年の薬価改定が実施されるなど、事業環境は厳しさを増しています。しかしながら、このような状況下においても、当社グループは医療用医薬品事業での産婦人科製品の伸長や、アニマルヘルス事業での飼料添加物の売上が好調に推移したことなどから、前年度に引き続き好調を維持し、連結売上高は過去最高を更新する604億6,100万円となりました。費用面については研究開発費や営業活動の正常化に伴う販促費用などが増加したものの、売上総利益の増加により、営業利益は前年度を上回る51億800万円となりました。経常利益につきましては、営業外収益を4億3,300万円、営業外費用を3億800万円計上したことから52億3,200万円となりました。また投資有価証券の売却に伴う特別利益を1億2,400万円計上したものの、前年度に固定資産売却益に伴う特別利益を計上した反動もあって、親会社株主に帰属する当期純利益は前年同期から5,100万円減の42億3,800万円となりました。

※金額は百万円未満を切り捨てて記載しています。

7つの戦略の実績と今後の課題・取り組み

7つの戦略	2022年度実績	今後の課題と取り組み
①スペシャリティ領域の取り組み強化による企業価値向上 ▶詳細はP.26-28	・「ドロエチ」1社単独発売によるLEP製剤市場でのシェア拡大、「レルミナ」の市場浸透による産婦人科領域No.1企業 ・Hyundai Pharm. Co., LtdによるLF111の申請（韓国）	・女性のライフステージを広くカバーする製品提供を通じた事業成長を継続 ・見過ごされがちな疾患への啓発活動による正しい知識の普及
②先端創薬による新薬の継続的創出 ▶詳細はP.28	・L-105（小児）申請準備段階への進展、LF111 第Ⅲ相臨床試験リクルーティングの完了などの開発ステージ進展 ・株式会社Epsilon Molecular Engineeringと産婦人科領域における新規VHH医薬創出を目指した共同研究契約を締結	・研究、開発テーマのスケジュール迅速化 ・重点領域のアンメットメディカルニーズを満たす新たなアセットの創出
③海外事業の展開 ▶詳細はP.29	・Hataphar社新工場竣工、稼働に向けた支援	・Hataphar社新工場の操業支援を通じた協業ステップアップ
④トータルヘルスケア実現に向けた新たな価値提供 ▶詳細はP.24-33	**〈あすか製薬〉** ・医薬周辺領域における協業開始（フェムテックなどサポートサービス事業への採択および4社コンソーシアム協定の締結、メロディ・インターナショナル株式会社と分娩監視装置の共同情報提供契約締結） **〈あすかアニマルヘルス〉** ・飼料添加物、動物用医薬品など合計3製品の承継および新発売 **〈あすか製薬メディカル〉** ・衛生検査所の登録を受け、医療機関からの検査受託を開始	**〈あすか製薬〉** ・女性の健康課題改善を支援する事業の確立（フェムテック） **〈あすかアニマルヘルス〉** ・コンパニオンアニマル製品ラインナップの拡充と効率的な営業体制の構築・整備 **〈あすか製薬メディカル〉** ・毛髪検体のホルモン測定キットのラインナップ拡充、定着毛髪以外の検体を対象とした測定事業展開
⑤業務効率化、コスト削減、財務基盤の強化 ▶詳細はP.24-29	・原価低減への施策継続 ・製品ポートフォリオの再検討	・業務効率向上にむけた部門の自律的なデジタル化推進 ・安定的な財務基盤の確保と資本効率の向上を両立
⑥コンプライアンスの徹底と信頼性を重視する組織風土の醸成 ▶詳細はP.46-51	・品質マネジメントシステムレビューの継続 ・コンプライアンス研修の継続実施	・継続的な教育研修による従業員の意識向上
⑦成長戦略を実現するための人材育成 ▶詳細はP.34-39	・本社オフィスリニューアル実施やペーパーレス促進などの柔軟な働き方の拡充 ・健康経営の取り組みによる健康経営優良法人ホワイト500の継続認定 ・eラーニング拡充、選抜、階層型の教育研修機会の充実	・ワークライフバランスの実現に向けた施策と健康経営の促進 ・多様性のある組織と全従業員が活躍できる職制構築